

本件は、3月30日の福井県原子力環境安全管理協議会で公表済のものです。

発電所名	大飯発電所 1 , 2 号機			
発生事象名	A 廃液蒸発装置の廃液濃縮液ポンプ入口配管からの漏えいについて			
発生年月日	平成16年 3 月24日			
発生時プラント状況	1 号機：定格熱出力一定運転中、 2 号機：調整運転中			
系統設備名	液体廃棄物処理系			
国への報告区分	-			
尺度区分（暫定）	基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
	-	-	-	-
事象概要	平成16年 3 月24日、大飯 1、 2 号機共用設備である A 廃液蒸発装置^{*1}の「A 濃縮液ポンプシール水流量低」の警報が発信した。 同装置は循環運転中であり、直ちに発電室員が A 廃液蒸発装置室内を点検したところ、室内の床に水が溜まっていることを確認したため、18時30分に A 廃液蒸発装置の循環運転を停止するとともに、19時47分に A 廃液濃縮液ポンプを隔離し、漏えいの停止を確認した。 漏えいした水は、A 廃液蒸発装置室堰内に収まっており、室内の目皿を通じてフロアドレンタンクに回収されている。 漏えいした水の量は約0.7m³と推定され、放射能濃度は約4.0×10^2 Bq/cm³、漏えい・回収した放射エネルギーは約2.8×10^8 Bqと評価された。 漏えい箇所を調査するため、廃液濃縮液ポンプ入口ラインの配管の保温材を取り外したところ、ポンプ入口配管に長さ約90mmと約15mmの 2 本の割れを確認した。 この事象による環境への放射能の影響はない。 * 1) 放射性廃棄物を減容処理するため、蒸気の熱により廃液を沸騰させ、蒸発せずに残った濃縮廃液をアスファルト固化装置へ送る装置。			
原因	A 廃液蒸発装置の「A 濃縮液ポンプシール水流量低」の警報が発信した原因については、現在調査中である。 割れが認められた配管については、切り出した後、分析施設にて破面観察など詳細な調査を実施中。			